

各 位

会社名 JALCO ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
 (JASDAQ・コード6625)
 問合せ先
 役職・氏名 管理本部長 松島 正道
 電話 050-5536-9824

2021年3月期の業績予想と実績値との差異の要因及び

**2022年3月期の通期連結業績予想値と中期経営計画値との差異の要因
 に関するお知らせ**

当社は、本日公表の2021年3月期決算短信(日本基準)〔連結〕における、2020年11月に公表した2021年3月期通期連結業績予想(以下、「前回予想」といいます。)と本日公表の実績値の差異ならびに、2020年5月19日に公表した中期経営計画と本日公表の2022年3月期通期連結業績予想(以下、「来期予想」といいます。)の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の業績予想と実績値との差異の要因

前回予想(2020年11月11日開示)と実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	2,761	1,300	900	1,258	13円00銭
今回発表実績(B)	2,717	1,272	793	1,061	11円31銭
増減額(B-A)	△44	△28	△107	△197	—
増減率(%)	△1.59	△2.15	△11.88	△15.66	—
(ご参考) 2020年3月期実績	1,724	1,069	613	565	6円61銭

前回予想との差異の主な理由は、以下のとおりであります。

当社は、2020年10月より当社の連結子会社となった株式会社SUNTAC(以下、「SUNTAC」といいます。)の計画につきましては、同年11月にSUNTACから提出された直近実績と下期予測に対し、一定のディスカウントを加味しておりましたが、製品販売の遅れや管理遊技機の導入時期の延期等での大幅な計画未達が影響したことによるものです。

なお、当社の既存事業である不動産事業、貸金事業は若干の上振れ、また2020年10月より開始した新台レンタル事業については、2020年11月11日開示「通期連結業績予想の(上方)修正に関するお知らせ」で売上・利益の一切を織り込まずと記載しましたが、実績は想定通りの結果となりました。

2. 2022年3月期の通期連結業績予想値と中期経営計画値との差異の要因

中期経営計画と当期予想ならびに実績との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表 2022年3月期計画	8,000~8,400	4,300~4,500	3,800~4,000	2,600~2,800
来期予想	4,700	1,800	1,170	1,170
2021年3月期計画	2,792	1,702	1,283	1,122
2021年3月期実績	2,717	1,272	793	1,061
増減額	△75	△430	△490	△61

まず、2021年3月期中期経営計画と実績との差異ですが、売上高及び親会社株主に帰属する当期純利益については、概ね、2020年11月11日開示「通期連結業績予想の（上方）修正に関するお知らせ」で記載した通りの結果となりましたが、営業利益及び経常利益は大きな差異となりました。

理由としては、新株予約権の行使の遅れにより、結果として、賃貸用不動産の新規取得が出来なかったことによるものです。

次に、2022年3月期中期経営計画と来期予想との差異の主な理由は、以下のとおりであります。

当社は、中期経営計画策定時において、大型物流施設販売用不動産について2022年3月期は売上高40億円（利益20億円）を見込んでおりましたが、地方自治体を含めた関係各所との交渉プロセスを踏まえると100%ではないため、来期予想には大型物流販売用不動産の上記の売上高（利益）を含めておりません。

また、SUNTACにおいては、2021年3月期の反省から来期は、提出された事業計画から大幅なディスカウントを行ない、売上を50%、経常損失2.4億円を見込み、来期予想値に織り込みました。

なお、2023年3月期中期経営計画については、新たに取り組む不動産仕掛け案件及び大型物流施設販売用不動産の大幅な上振れの可能性も否定できないため、変更は一切いたしません。また、2022年3月期中期経営計画値及び来期予想値は、新株予約権（未行使分）の全行使を前提としています。

以 上